

4 月 28 日：ベトナム株は下落、引けにかけて利益確定売りが集まる

ベトナム株は午後に上昇する場面もあったが、最終的には利益確定圧力が高まり下落して取引を終えた。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.46% 安の 767.21 ポイントで取引を終えた。

月曜日に同指数は 0.76% ほど下落していた。

出来高は 2 億 1940 万株で売買代金にして 3.66 兆ドンであった。

1 億 9700 万株が相対取引で取引され、売買代金にして 3.16 兆ドンであった。

大型株が下落したことで、VN30 指数は 0.54% 安の 715.74 ポイントで取引を終えた。

下落した主な銘柄は、ビナミルク (VNM)、ホアファットグループ (HPG)、サイゴンビール (SAB)、ベトナム航空 (HVN)、ビンコムリテール (VRE)、ベトナムラバーグループ (GVR)、モバイルワールドインベストメント (MWG)、ペトロベトナムガス (GAS) などであった。

VNM は 2.2% 安、HPG は 2.5% 安、SAB は 5.6% 安、HVN は 1.7% 安、VRE は 3.2% 安、GAS は 2.2% 安となった。

一方、上昇したのはベティンバンク (CTG)、軍隊商業銀行 (MBB)、ベトコムバンク (VCB)、テクコムバンク (TCB) などであった。

投資家は大型株から中小型株に資金を移す傾向が続いた。中小型指数はそれぞれ 0.35%、0.28% 高となった。

2 営業日連続の下落となり、流動性も低下した。現在の株式市場に投資家は退屈しているようであるとサイゴンハノイ証券は語った。

多くの投資家は祝日前の最後の取引となる本日の取引でも様子見姿勢が高まると予想されると同社は述べた。

ベトナム市場は木曜日と金曜日は休場となる。来週月曜日から再び市場は開くことになる。

外国人投資家は売り越しを続け、相場を押し下げた。

VN30 指数先物は 1.5%上昇し 694 ポイントで取引を終えたが、現物よりも 21.74 ポイント低い水準だった。

VN 指数は 755-790 ポイントの範囲で推移すると思われる。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.04%安の 106.26 ポイントで取引を終えた。

同指数は 2 営業日連続の売り越しで 0.66%安となった。

出来高は 4150 万株で売買代金にして 3085 億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。